



# スピリット 常中魂

平成27年 4月10日 NO. 5

〒311-1114 水戸市塩崎町1016  
 TEL029-269-2116  
 FAX029-269-3160  
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp  
 【ホームページで、カラー版が見られます】

## 「校長先生、おはようございます」さわやかな挨拶

総体に向け、どの部活動も活発に活動をしている。9日朝も、各部顧問の指導の下、朝練が実施されていた。朝の挨拶運動の一環としてグラウンドに降りると、**サッカー部**がまず私に気付き、「校長先生、おはようございます」と**全員が心を一つ**にして挨拶をしてくれた。同じようにグラウンドで練習をしていた、野球部、ソフトボール部が続いて、それぞれに朝の挨拶をしてくれた。とてもうれしく思った。

挨拶は心のノック。部活所属者全員で心を合わせ、声を揃えて挨拶ができる部活は間違いなく強い（強くなる資質をもっている。）「やはり、人としての基本は挨拶にある。」常中生の常中魂が感じられる朝の挨拶で、改めてそう感じた。



2015/4/9

## 笑顔は心の化粧

苦虫をかみつぶしたような顔でしゃべられると、どことなく気分が滅入る。

人は、相対する人の表情でずいぶんと気分が変わるものだ。昔の人の教えに、「笑顔は心に化粧が済んだ状態」というものがある。入学式の受付の女子たちのこの笑顔を見ていただきたい。どんな大人のひとの化粧より、美しい**心の化粧**が彼女たちにはできていると感じられないだろうか。



2015/4/8



2015/4/9



2015/4/7



出勤してくると、川又誠二先生（三学年主任）が玄関を黙々と掃除されていた。寡黙な先生という印象だが、その行動がすばらしい。行動で示す（背中で語る）ことを自ら実践されておられる。川又先生のこの行動を見て、入学式前日の三年生たちの「自ら何をすべきかを考えて、自ら働く姿」が随所で見られた理由が分かった気がした。先生に指示される前に、紅白幕を貼り、椅子の位置を直し、赤絨毯の位置を調整していた三年生たちの行動は、下学年の手本としてふさわしい。背中で語る第三学年集団の志気の高さに敬意を表したい。

## 常中魂